

**プロロジス、中国で
シトランス社と日本通運の合弁会社に
19,000 平方メートルの施設を賃貸契約
キヤノン社の 3PL サービスの拠点として利用**



プロロジスパーク大連自由港

物流施設専門の不動産開発会社プロロジス(世界本社: 米国コロラド州デンバー NYSE: PLD)は 2008 年 7 月 15 日、中国・大連においてシトランス遼寧社と日本通運の合弁会社である日通シトランスロジスティクス大連社と、施設 1 万 9,000 平方メートルについて賃貸契約を結んだと発表しました。

日通シトランス社は「プロロジスパーク大連自由港」に入居し、世界最大の業務用および家庭用映像機器および情報システムメーカーであるキヤノン社向けの 3PL 業務の拠点として利用します。シトランス社と日本通運は 1992 年に合弁会社を設立し、大連地域での事業を拡大しています。

「プロロジスパーク大連自由港」は大連自由港や韓国、日本の市場へ近接していることから中国北東部においては最も優れた物流拠点の一つです。

「プロロジスパーク大連自由港」は計 13 万平方メートル(140 万平方フィート)から成る物流施設パークです。大連自由港内に位置し、大連コンテナヤードおよび 2010 年実施予定の同港の 2 期にわたる拡張計画予定地に近接しています。また、2 つの高速道路や大連空港、大連市街へのアクセスにも大変恵まれています。

シトランス遼寧社は中国最大の物流会社であり国際貨物輸送、エアカーゴ、国際即配便などのサービスを提供しているシトランス社の 100% 子会社です。日本通運は、物流業におけるリーディングカンパニーとして全世界でネットワークを構築し、総合物流サービスを提供しています。

なお今回プロロジスは、中国・大連において新しいホープスクール(小学校)を開校したことも発表しました。プロロジスは 2006 年に、中国において施設を約 50 万平方メートル(500 万平方フィート)開発するとともに学校を 1 校建設する、との公約を発表しています。これは教育施設が十分でなく、また、教育の場としてふさわしい設備の不足している中国農村部の児童およびその家族を支援するための取り組みです。

今回開校した「プロロジス集発 龍口ホープスクール」の校舎は2階建てで、6つの教室、2つの多目的室と2つの職員室があり、10名を超える教師により、100名以上の児童が学ぶことができる施設です。この学校は大連郊外の瓦房店市そばの龍口の町に所在する、中国で4校目のプロロジスホープスクールです。去る7月15日にプロロジスの役員や地元自治体関係者、教師や生徒らが参加して開校セレモニーが行われました。

2007年8月にプロロジスは最初のホープスクールを中国南部、広西壮族自治区の梧州市旺甫に開校しており、続いて寧夏回族自治区内の中寧県と同心県にそれぞれ2校目と3校目の学校を建設しています。両校とも、今年9月の新学期スタートと同時に開校することになっています。

プロロジスは中国において物流施設の開発会社として業界トップの地位を築いており、2008年3月末現在で230万平方メートル(2,480万平方フィート)の施設を運営および開発中です。なお、中国においてプロロジスの物流施設を利用する主な企業は adidas 社、DHL 社、L'Oreal 社、Menlo Worldwide 社、Nokia 社、NYK 社、Samsung 社、UPS 社、日本通運(株)、(株)日立物流、(株)近鉄エクスプレス、(株)キューソー流通システム(順不同)などがあります。

本資料は、2008年7月15日、プロロジスが米国にて発表した英文プレスリリースの抄訳です。